

令和元年度  
事業報告書

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

公益社団法人 地域医療振興協会

## 令和元年度事業報告書目次

概 要	・・・・・・・・・・・・・・・・	3 ページ
第 1 公益目的事業の実施状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	5 ページ
第 2 法人の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	23 ページ
別表 1 病院等の一覧	・・・・・・・・・・・・・・・・	26 ページ
別表 2 役員名簿	・・・・・・・・・・・・・・・・	27 ページ

## 令和元年度事業報告書

- 1 医学生及び卒業生のへき地医療研修活動の指導（公1-1）  
医学生、コメディカル学生及び医療従事者を対象に、地域医療実習等指導施設として受け入れを行った。研修受入実績は延べ日数 30,011 日であった。
- 2 へき地医療における診療活動基準の研究と確立（公1-2）  
地域医療セミナーを開催した。
- 3 総合医の確立についての研究と研修会の開催及び総合医の養成（公1-3）  
臨床研修医養成事業を行った。臨床研修医は 96 名、専攻医は 119 名であった。  
海外の大学との交流を進めた。  
また、ヘルスプロモーション研究センターの運営等を行った。
- 4 医療情報の提供（公1-4）  
遠隔画像診断支援システムの運営、医師向け生涯学習コンテンツ等の提供、ホームページによる情報提供を行った。
- 5 地域保健医療に関する研究会及び講習会の開催（公1-5）  
PTLS（外傷初期診療講習）等の講習会等を行った。
- 6 へき地等に勤務する医師等の職業紹介及び派遣（公1-6）  
へき地等への医師等派遣事業等を行った。へき地等の協会外施設への代診実績は、1,765 日となった。  
また、フライングドクターサービスは本年度についても 343 回運航し、659 名の医師が搭乗したが、本年度末をもって事業終了し長崎県病院企業団へ事業継承した。
- 7 会報・会誌の発行（公1-7）  
「月刊地域医学」を編集し、発行した。
- 8 へき地等に勤務する医師の確保等へき地等の医療（介護を含む。）を支援する病院等の開設及び運営管理の受託（公1-8）  
平成 31 年 4 月よりあま市民病院、令和元年 10 月に奥多摩町立古里診療所の運営を開始した。  
運営施設は病院 25 施設、診療所（附属診療所及び出張診療所を含まない。）43 施設、介護老人保健施設 18 施設となった。  
地域看護研究センター、JADECOM-NDC 研修センター、地域医療安全推進センター及びシミュレーションセンターの運営を行った。

9 へき地等の医療を支援する病院等に勤務する看護師等を養成するための学校の運営事業等の養成事業（公1-9）

(1) さいたま看護専門学校

42名が入学し、34名が2年生に27名が3年生に進級した。  
卒業生（6回生）を26名を輩出した。

(2) 奈良市立看護専門学校

37名が入学し、40名が2年生に41名が3年生に進級した。  
卒業生3回生1名、4回生1名、5回生28名を輩出した。

## 第1 公益目的事業の実施状況

### 1 医学生及び卒業生のへき地医療研修活動の指導（公1-1）

#### （1）地域医療実習

石岡第一病院、六合温泉医療センター、揖斐郡北西部地域医療センター、公立丹南病院、日光市民病院、磐梯町保健医療福祉センター、東通村診療所、伊東市民病院、揖斐川町春日診療所、西吾妻福祉病院、介護老人保健施設にっこう、横須賀市立うわまち病院、湯沢町保健医療センター、公設宮代福祉医療センター、市立恵那病院、東京北医療センター、市立奈良病院、公立黒川病院、伊東市介護老人保健施設みはらし、地域包括ケアセンターいぶき、おおい町保健・医療・福祉総合施設、村立東海病院、志摩地域医療福祉センター、飯塚市立病院、市立大村市民病院、上野原市立病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、シティ・タワー診療所、横須賀市立市民病院、奈良市立都祁診療所、伊豆今井浜病院、十勝いけだ地域医療センター、女川町地域医療センター、与那国町診療所、三重県立志摩病院、越前町国民健康保険織田病院、孺恋村国民健康保険診療所、真鶴町国民健康保険診療所、今泉記念館ゆきあかり診療所、六ヶ所村医療センター、にしあざい診療所、揖斐川町谷汲中央診療所、加賀地域医療支援センター、鳥羽市立長岡診療所、竹富町立黒島診療所、恵那市国民健康保険山岡診療所、国頭村立東部へき地診療所、あま市民病院、において、医学生、コメディカル学生及び医療従事者延 3,360 人を対象に、地域医療実習等指導施設として延べ日数 30,011 日の受け入れを行った。

#### （2）自治医科大学学生相談会（5年生）の実施

9月20日 近畿・中国・四国・九州・沖縄ブロック

（学生40名、卒業生27名）

9月27日 北海道・東北・関東・東海・北陸信越・大阪ブロック

（学生57名、卒業生26名）

#### （3）地域枠医学生等に対する研修会の実施

ワークショップ 6月29日～30日 東京

#### （4）医学生海外研修の支援

オレゴン健康科学大学 16名（14大学）が参加

### 2 へき地医療における診療活動基準の研究と確立（公1-2）

#### 地域医療セミナーの開催

JADECOM 地域医療セミナーin 揖斐 11月1～3日

3 総合医の確立についての研究と研修会の開催及び総合医の養成（公1-3）

(1) 臨床研修医養成事業

臨床研修医 96名

専攻医 119名

合計 215名

ア 基幹型臨床研修病院

(ア) 臨床研修医

横須賀市立うわまち病院 17名

伊東市民病院 9名

東京北医療センター 19名

市立奈良病院 16名

市立大村市民病院 0名

横須賀市立市民病院 8名

三重県立志摩病院 4名

東京ベイ・浦安市川医療センター 16名

練馬光が丘病院 7名

臨床研修医数 計 96名(2年目:47名、1年目:49名)

(イ) 見学者の受入れ

a エクスターンシップ参加者

伊東市民病院 6名

b 随時受入れ(臨床研修希望者)

横須賀市立うわまち病院 57名

伊東市民病院 40名

東京北医療センター 194名

市立奈良病院 62名

市立大村市民病院 3名

横須賀市立市民病院 49名

三重県立志摩病院 4名

東京ベイ・浦安市川医療センター 191名

練馬光が丘病院 97名

計 697名

(ウ) 専攻医

a 総合診療プログラム

東京北医療センター 6名

市立奈良病院 3名

台東区立台東病院 1名

計 10名

b 各科専門プログラム

横須賀市立うわまち病院	9名
伊東市民病院	2名
東京北医療センター	25名
市立奈良病院	5名
横須賀市立市民病院	5名
三重県立志摩病院	1名
東京ベイ・浦安市川医療センター	48名
練馬光が丘病院	2名
計	98名

c 専攻医数(a+b+イ(イ)b(a)) 合計 119名

イ 臨床研修センター

(ア) 臨床研修及び専門研修

a ワークショップ等の開催

新臨床研修医・専攻医新入職研修会 (協会新入職員研修会と同日開催)	4月5～6日
へき地・地域医療学会(教育セッション)	6月29日～30日
JADECOM 地域医療セミナーin揖斐	11月1～3日

b 令和2年度医師臨床研修申請作業、平成30年度医師臨床研修報告作業

c 新専門医制度に関する情報収集、プログラム申請

(イ) 地域医療研修センター(地域医療型プログラム「地域医療のススメ」)

a 地域医療型プログラム指導医 3名

b 地域医療型プログラム専攻医 30名

(a) 家庭医療プログラム 11名

(b) 総合診療プログラム(ア(ウ)aの再掲) 10名

(c) 各科専門プログラムを併せて履修 9名

c ワークショップ等の開催

臨床研修医・専攻医新入職研修会 (協会新入職員研修会と同日開催・再掲)	4月5～6日
春の合同ミーティング(オリエンテーション)	4月6日
秋の合同ミーティング(中間振り返り)	10月19日～20日
冬の合同ミーティング(ポートフォリオ相談会)	2月15日～16日
地域医療型プログラム修了評価	1月12日

d TV会議によるシニアレジデント勉強会の開催及び指導

ポートフォリオ勉強会 計10回

Web振り返り 計22回

ウ 再研修・生涯研修事業

(ア) 再研修医(令和2年3月末在籍者数) 4名

(イ) 生涯研修事業

- a 医師 1 週間研修 1 名
- b JADECOM 若手医師の会 6 月 29 日・12 月 21 日

(2) ヘルスプロモーション研究センター

ア 医療施設と協働した予防医療活動事業

(ア) 台東区立台東病院でのヘルスプロモーション推進事業

- a. 「ヘルシー・コンビニ・プロジェクト」  
患者や職員の食生活支援のために、院内コンビニ店の品ぞろえ、陳列見直し、教育的な成分表示を実施。健康的な食品を中心に売り上げが増加。主要紙に記事掲載。ニュースレター「ローソン瓦版」の作成・提示(毎月 1 回)
- b. 職員の主体的な取組による地域のヘルスプロモーション病院としての「台東病院・千束祭」の開催(9 月 8 日、来場者約 300 人)
- c. 平成 28 年度からの台東病院の活動が評価され、厚生労働省「健康寿命をのばそう!アワード」を受賞(11 月 11 日)
- d. 今後の活動を検討する職員のワークショップの開催支援(1 月 11 日)

(イ) あま市民病院でのヘルスプロモーション推進事業

- a. 市の幹部との意見交換会の開催 (8 月 5 日)
- b. 職員ワークショップの開催支援 (8 月 17 日、3 月 7 日)
- c. 海部地区公立病院の協議会主催の研修会での講演 (1 月 19 日、参加者約 100 人)
- c. 糖尿病対策の一環として、あま市から受託事業である糖尿病教室の開催を支援 (2 月 7 日、参加者 50 人)

イ 自治体と協働した健康づくり事業

(ア) 東通村 村おこしを目指したヘルスプロモーション事業

- a. キーパーソン、産業関係者、住民を対象としたワークショップ

(イ) 真鶴町 生活習慣病の一次予防対策

- a. 食生活改善推進員の研修会の講師

(ウ) 孺恋村 フレイル予防事業の実施

- a. フレイル予防サポーター育成研修及びフォローアップ研修の講師
- b. フレイル予防サポーターによる教室開催の支援 (教室は 6 地区 7 か所)
- c. 平成 28 年度からの取り組みの評価のため、65 歳以上を対象にアンケート調査を実施

(エ) 宮代町

- a. 介護予防のサポーター養成の研修会講師

ウ 指導者養成・情報発信事業の実施

(ア) 健康づくり教材等の開発と配付

- a. 受動喫煙防止と禁煙に関する教材 (ポスター、リーフレット各 2 種類) の作成・配布。

開発した教材は、ホームページで公開。その内容が地方紙 8 社に掲載。  
b. 孀恋村での地域ぐるみのフレイル予防の活動を紹介する動画の作成。ホームページや研修会で紹介。

(イ) 各種セミナー等の開催

a. 地域診断に関わる実践セミナー

b. 地域ぐるみで取り組むフレイル予防に関する WEB セミナー  
協会施設と関連自治体職員対象に実施。

c. 協会会員や職員への講演や情報提供

d. 禁煙支援・治療に関する e ラーニング (J-STOP 事業)

全国の保健医療従事者や協会職員を対象。受講者数 969 名、修了率 76%  
平成 27 年度からの累積受講者数は 4,819 名

e. 医学生教育

自治医科大学医学部 1 年生を対象とした食育ワークショップ (5 月 25 日  
参加者 116 名、2 月 12 日 121 名) と 3 年生を対象とした喫煙・飲酒ワー  
クショップ (6 月 13 日 参加者 123 名)

g. 月刊地域医学への連載 (年 7 編)

エ 保健医療関係者のネットワーク「公衆衛生ねっと」の運営

公的調査の最新情報、地域保健活動や健康危機管理などに役立つ学術情報の  
提供、会員間での意見交換など

オ 厚生労働科学研究費補助金等による研究および研究支援活動

(ア) 厚生労働科研費、科研費による研究

受動喫煙防止等のたばこ政策の評価とそれに基づく政策提言など

(イ) 協会会員等からの研究相談への対応と研究費獲得のための支援

研究相談への対応、公的研究費や民間の助成金の申請支援

(ウ) 協会として実施する研究への支援

(エ) 研究成果の公表

(3) 地域保健医療研究助成事業

ア 研究助成賞 応募 8 編の中から 1 編を選考し、表彰した。

イ 研究奨励賞「月刊地域医学」で平成 30 年 4 月号～平成 31 年 3 月号に発表された  
論文 5 編の中から 3 編を選考し、表彰した。

ウ 研究助成事業として学会等の研究助成への応募を支援し、寄附研究として 1 件の  
採択を受けた。

(4) 教員・指導医国際交流事業

ア 医師等の招へい

(ア) オレゴン健康科学大学から

5 月 医師等 2 名

6月 医師等2名

2月 研修医1名

(イ) トーマスジェファーソン大学から

10月 医師1名

11月 看護師等5名

上記の通り招へいし、講演会や交流会を開催した。

イ 医師等の派遣

(ア) オレゴン健康科学大学へ

6月 医師7名（正会員）

上記のとおり正会員医師を公募のうえ派遣し、米国での地域医療の現場の現状視察及び交流を行った。

ウ 外部助言委員会（External Advisory Committee）の開催

アメリカ合衆国オレゴン州ポートランドにて開催（10月8日）

オレゴン健康科学大学の医師を招へいし、協会事業及び活動内容に関する助言及び指導を受けた。

エ ベトナム人技能実習生受入

平成29年に面接会を実施、採用内定したベトナム人技能実習生5名が来日し、台東区立台東病院と台東区立老人保健施設千束で技能実習を開始した。

令和2年度の介護職種のベトナム人技能実習生受入に向けて、7月11日にベトナム社会主義共和国ハノイ市において採用面接会を開催した。

(5) 医学生に対する奨学金貸与事業

貸与者20名（内訳 新規貸与2名、継続貸与18名）

4 医療情報の提供（公1-4）

(1) 自治医科大学卒業生に対する図書館文献複写サービスの実施

利用者延べ229名の依頼により893件の文献を提供した。

(2) 遠隔画像診断支援システム運営

48,401件の読影を行った。

参加施設（30施設）

- 1 公設宮代福祉医療センター
- 2 湯沢町保健医療センター
- 3 日光市民病院
- 4 伊東市民病院
- 5 東通村診療所
- 6 市立恵那病院
- 7 おおい町保健・医療・福祉総合施設

- 8 西吾妻福祉病院
- 9 公立黒川病院
- 10 村立東海病院
- 11 上野原市立病院
- 12 石岡第一病院
- 13 志摩市立前島診療所
- 14 台東区立台東病院
- 15 町立厚岸病院
- 16 公立久米島病院
- 17 横須賀市立市民病院
- 18 磐梯町保健医療福祉センター
- 19 十勝いけだ地域医療センター
- 20 女川町地域医療センター
- 21 練馬光が丘病院
- 22 与那国町診療所
- 23 東京都健康長寿医療センター
- 24 六ヶ所村医療センター
- 25 戸田診療所
- 26 真鶴町国民健康保険診療所
- 27 奥尻島国民健康保険病院
- 28 医療法人おけさ会佐和田病院
- 29 伊豆今井浜病院
- 30 あま市民病院

(3) ホームページによる情報提供

- ア 運営施設の状況を紹介した。
- イ へき地支援の実情を紹介した。
- ウ 協会の実施する研修会等の参加募集を行った。
- エ 協会の最新の情報を提供した。

(4) 生涯教育センター

- ア 医師等の生涯学習に資する情報提供の実施
  - (ア) 自治医科大学教員による最新研究・治療等の講義配信 (4本)
  - (イ) 協会医師による最新研究・治療等の講義配信 (7本)
  - (ウ) へき地・地域医療学会の招聘講演等の配信 (4本)
- イ 診療、進路、研究等に関する医師等からの各種相談窓口の運営

5 地域保健医療に関する研究会及び講習会の開催 (公1-5)

(1) 教育研修事業の実施

- ア PTLIS (外傷初期診療講習) 3回、受講者合計 69名
- イ ATOM (外傷外科トレーニング講習) 1回、受講者 10名
- ウ ALSO (周産期救急講習) 4回、受講生合計 114名
- エ BLSO (周産期救急基礎講習) 1回、受講生 18名
- オ PEARS 講習会 (小児観察評価対応講習) 1回、受講生 2名
- カ PALS 講習会 (小児二次救命処置講習) 1回、受講生 4名
- キ PC3 講習会 (母体救命講習) 1回、受講生 24名
- ク セデーション医師コース (鎮静鎮痛講習) 2回、受講生合計 38名
- ケ セデーション看護師コース (鎮静鎮痛講習) 3回、受講生合計 29名

(2) 沖縄心肺蘇生講習会 (助成)

渡嘉敷島	5月8日～9日	受講者79名
渡名喜島	5月24日～25日	受講者40名
与那国島	6月3日～4日	受講者127名
座間味島	7月3日	受講者31名
阿嘉島	7月4日	受講者数7名
伊平屋島	9月25日～26日	受講者135名
多良間島	12月6日	受講者36名
西表島	2月8日～2月10日	受講者18名

(3) へき地・地域医療学会の開催 (6月29日～6月30日)

- ア テーマ 地域から羽ばたく女性医師
- イ 内容 シンポジウム、教育セッション、都道府県支部代表演題発表、ワークショップ、へき地医療功労者の表彰、高久賞の授与
- ウ 会場 海運ビル、砂防会館
- エ 参加者数 382名

6 へき地等に勤務する医師等の職業紹介及び派遣 (公1-6)

(1) 職業紹介

- 医師及び医療従事者の無料職業紹介事業
- 延べ15施設からの求人登録と10名の求職者登録があった。

(2) 医師派遣事業等

- ア へき地等への医師派遣事業
- 市立根室病院, 町立厚岸病院, 留萌市立病院, 南部町医療センター, 石巻赤十字病院, 大崎市民病院, 大崎市民病院鳴子温泉分院, 栗原市立鶯沢診療所, 城里町国民健康保険七会診療所, 常陸大宮市国民健康保険美和診療所, 日光市立国民健康保険栗山診療

所, 日光市立湯西川診療所, 四万へき地診療所, 長野原町へき地診療所, 公立長生病院, 三浦市立病院, 小田原市国民健康保険片浦診療所, 南魚沼市民病院, 美浜町丹生診療所, 北杜市立塩川病院, 岐阜県立下呂温泉病院, 中津川市国民健康保険蛭川診療所, 中津川市民病院, 伊東市夜間救急医療センター, 伊豆赤十字病院, 下田メディカルセンター, 鳥羽市立鏡浦診療所石鏡分室, 鳥羽市立桃取診療所, 御杖村国民健康保険診療所, 山添村国民健康保険豊原診療所, 高野町立高野山総合診療所, 新宮町相島診療所, 宗像市国民健康保険大島診療所, 東峰村立診療所, 福智町立方城診療所, 長崎県五島中央病院, 長崎県上五島病院, 長崎県上対馬病院, 長崎県対馬病院, 国立病院機構 長崎医療センター, 長崎県島原病院, 阿嘉診療所, 栗国島診療所, 伊江村立診療所, 伊是名診療所, 伊平屋診療所, 座間味診療所, 渡名喜診療所, 南大東診療所, 北大東診療所, からの代診医・短期診療支援要請を受けて、運営施設及び本部から延べ 1,765 日の代診等の支援を行った。

また、東京都神津島村国民健康保険直営診療所, 沖縄県立北部病院からの要請を受けて、常勤医師による診療支援（医師派遣）を行った。

イ へき地等への医療従事職員（医師を除く。）の派遣事業

へき地等の自治体、地域医療機関等から要請を受け、延べ日数 12 日、看護師、理学療法士の医療従事職員の派遣を行った。

(3) へき地医療支援センター

へき地医療情報システム(へき地医療情報ネットワーク)の管理、運営

(4) 北海道へき地医療支援センター

北海道地域における医師確保の支援等

(5) 岐阜へき地医療支援センター

ア 診療支援

診療支援等検討会議 11 回

代診支援調整 代診日 25 日

イ 研修事業

地域医療体験等実習受入（シティ・タワー診療所と連携）

医学生等 14 名（延べ 225 日）

(6) 沖縄地域医療支援センター

ア 沖縄県内の公的医療機関等からの医師派遣要請の受付

沖縄県立北部病院、伊江村立診療所、沖縄県立北部病院附属伊平屋診療所、沖縄県立宮古病院、沖縄県立八重山病院、竹富町立黒島診療所

イ 医師の募集及び勤務希望医師の登録

ゆいまーる登録医師 296名（令和2年3月31日現在）

ウ 登録医師の面談・調整

エ 医師派遣医療機関の募集及び派遣希望機関の登録

オ 医師の斡旋紹介 伊江村立診療所（医師）、伊平屋歯科診療所

カ 看護師斡旋紹介

沖縄県立病院及びその附属診療所、公立久米島病院

キ 女性医師の再就職支援相談事業

ク 沖縄県へき地医療支援機構運営事業（県委託事業）

- ・へき地医療支援機構の運営（ゆいまーるホームページの運用、支援機構専任担当官確保、ドクターバンク登録、代診医派遣等）

- ・離島診療所、へき地診療所への代診支援（代診医派遣日数 201日）

竹富町立黒島診療所、与那国町診療所、伊江村立診療所、北大東診療所、伊平屋診療所、国頭村立東部へき地診療所、栗国診療所、阿嘉診療所、伊是名診療所、渡名喜診療所、北大東診療所、座間味診療所、南大東診療所

ケ 沖縄県専門医派遣巡回診療支援事業の受託（県委託事業）

（巡回診療回数 90回、受診者数 925人）

コ 沖縄県離島巡回診療ヘリ等運営事業（県委託事業）

（巡回診療回数 24回、受診者数 339人）

サ 研修医・医学生の離島診療所研修の調整

シ 琉球大学医学部附属病院、久米島町との連携

久米島デジタルヘルス事業

（琉球大学附属病院、久米島町、公立久米島病院等）

#### （7）離島支援事業

ア 常勤医師を神津島村国民健康保険直営診療所へ派遣

イ 非常勤の皮膚科専門医、耳鼻科専門医及び看護師を神津島村国民健康保険直営診療所へ派遣

#### （8）医師確保・支援事業

医師確保が困難であり、かつ、医師を派遣する必要のある病院及び診療所へ派遣された医師に対し、支援協力手当を支給した。派遣月数は、延べ203月であった。

#### （9）フライングドクターシステム

長崎県の離島に所在する医療機関で診療を行う医師の支援のため、医師をヘリで離島へ移送する運航を行った。フライトは163日予定し、天候不良のため欠航が40日、運航フライトは123日で就航率は75%であった。

区間	往路		復路		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
長崎ー上五島	102回	301人	92回	202人	194回	503人
長崎ー福江	27回	27人	19回	19人	46回	46人
長崎ー小値賀	38回	39人	32回	36人	70回	75人
長崎ー奈留	8回	8人	6回	6人	14回	14人
長崎ー度島	1回	1人	1回	1人	2回	2人
長崎ー福島	5回	5人	4回	4人	9回	9人
福江ー上五島	2回	2人	—	—	2回	2人
上五島ー小値賀	6回	8人	—	—	6回	8人
合計	189回	391人	154回	268人	343回	659人

※注 1日のフライトで複数回運航する。

尚、本事業は令和2年3月31日をもって終了したが、長崎県病院企業団が離島等医療連携ヘリ事業「RIMCAS」として事業を継承した。

7 会報・会誌の発行（公1-7）

「月刊地域医学」を編集し、発行した。

8 へき地等に勤務する医師の確保等へき地等の医療（介護を含む。）を支援する病院等の開設及び運営管理の受託（公1-8）

（1）へき地等の医療を支援する病院等の運営の状況

ア 病院等の一覧 別表1のとおり

イ 診療及び介護実績

（ア）病院

	令和元年度	平成30年度	前年比	増減数
病院数	25施設	24施設	104.2%	1施設
病床数	5,038床	4,935床	102.1%	103床
入院患者数（日）	3,697人/日	3,584人/日	103.2%	113人/日
病床利用率	73.4%	72.6%	101.0%	0.8%
外来患者数	8,806人/日	8,687人/日	101.4%	119人/日

（イ）診療所

	令和元年度	平成30年度	前年比	増減数
診療所数	43施設	42施設	102.4%	1施設
（うち有床診療所数）	6施設	6施設	100.0%	0施設
病床数	114床	114床	100.0%	0床
入院患者数	61人/日	68人/日	89.7%	△7人/日

	令和元年度	平成 30 年度	前年比	増減数
病床利用率	53.5%	59.6%	89.7%	△6.1%
外来患者数	1,837 人/日	1,698 人/日	108.2%	139 人/日

(ウ) 介護老人保健施設

	令和元年度	平成 30 年度	前年比	増減数
施設数	18 施設	18 施設	100.0%	0 施設
入所定員数	1,477 人	1,477 人	100.0%	0 人
入所者数	1,303 人/日	1,297 人/日	100.5%	6 人/日
利用率	88.2%	87.8%	100.5%	0.4%

(エ) 通所リハビリテーション

	令和元年度	平成 30 年度	前年比	増減数
施設数	24 施設	23 施設	104.3%	1 施設
通所定員数	704 人	690 人	102.0%	14 人
通所者数	493 人/日	476 人/日	103.6%	17 人/日
稼働率	70.0%	69.0%	101.5%	1.0%

(オ) 通所介護

	令和元年度	平成 30 年度	前年比	増減数
施設数	3 施設	3 施設	100.0%	0 施設
通所定員数	80 人	80 人	100.0%	0 人
通所者数	49 人/日	50 人/日	98.0%	△1 人/日
稼働率	61.3%	62.5%	98.0%	△1.3%

(カ) その他の指標

	令和元年度	平成 30 年度	前年比	増減数
居宅ケアプラン 作成 (月平均)	988 件/月	947 件/月	104.3%	41 件/月
訪問看護	172 人/日	157 人/日	109.6%	15 人/日
訪問リハビリ	119 人/日	165 人/日	72.1%	△46 人/日
居宅療養管理指導	33 人/日	28 人/日	117.9%	5 人/日

(キ) 新たに運営を開始した施設・事業

- a あま市民病院 平成 31 年 4 月
- b 奥多摩町古里診療所 令和 元年 10 月

(2) 地域看護研究センター

ア 病院・老健・診療所責任者会議の開催

- (ア) 病院看護部長会議 6 月 21 日 23 名 3 月 16 日 21 名

- (イ) 老健看護責任者会議 5月22日 23日 13名
- (ウ) 診療所看護代表者会議 6月8日 9日 13名 11月9日 10日 8名  
2月15日 16日 8名
- (エ) 病院・老健・診療所責任者会議 9月15日 40名

イ 研修会・発表会の開催

- (ア) 新看護部長・新事務部長合同研修会 4月26日 9名
  - (イ) 認定看護師ワークショップ 9月15日 27名
  - (ウ) 看護師長研修会（新人） 延期
  - (エ) 主任看護師研修会（中堅） 6月25日 26日 19名
  - (オ) 助産師研修会 8月31日 12名
  - (カ) 4年目看護師研修会 6月13日 14日 25名  
9月24日 25日 30名  
11月14日 15日 29名 計84名
  - (キ) 主任看護師研修会（新人） 10月29日 40名
  - (ク) 看護師長研修会（中堅） 7月30日 16名
  - (ケ) 韓国人看護師研修会 未実施
  - (コ) 介護福祉士研修会（病院） 10月24日 19名
  - (サ) 保育士研修会 11月23日 33名
  - (シ) 交流研修発表会 1月24日 53名
  - (ス) 介護福祉士研修会（老健） 2月14日 22人
- 師長の交流研修実施者 10施設 13名  
へき地医療体験研修参加者 7施設 9名  
介護福祉士の交流研修実施者 4施設 5人

(3) JADECOM-NDC 研修センター

特定行為に係る看護師の育成・次期生の募集活動・カリキュラム変更調整。定員、実習施設を拡大し、研修内容や体制の確立、充実を目指した。研修修了後も月に一度のWebミーティングでフォローアップしている。研修生・修了生合同でNDC集会（テーマ：RRSについて）を実施した。医師不足の派遣要請に、1期生2期生が対応した。（六ヶ所村・上野原）

- 第1期生：5名 平成30年3月 臨床研修修了
- 第2期生：6名（協会内5名・協会外1名） 平成30年8月 臨床研修修了
- 第3期生：12名（協会内9名・協会外3名） 令和2年3月 臨床研修修了
- 第4期生：12名（協会内9名・協会外3名）

研修期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日  
4～6月 共通科目 eラーニング+Webミーティング  
7～9月 共通科目演習・実習  
10～11月 区分別科目 eラーニング+Webミーティング

12～3月 区分別科目演習・実習

令和2年4月～ 臨床研修へ

第5期生：7名（協会内6名・協会外1名）

募集活動、選考試験（2月4日）：11名応募 ⇒ 合格8名

\*COVIT-19の影響で1名受講辞退あり、5期生は7名となった。

#### (4) 地域医療安全推進センター

##### ア 医療安全管理体制整備の支援

(ア) 運営施設からの医療事故報告 6件

(イ) 運営施設からの医療安全に関する相談、問い合わせに対応 869件

(ウ) 運営施設からの講師派遣依頼に対応 42件、56施設、講演参加者6,918名

##### イ 医療安全研修の実施状況

(ア) 対象 協会職員、協会会員、一般

(イ) 内容 医療安全管理者養成研修等6の研修

(ウ) 参加人数 104名の参加を得た。

##### ウ 医療安全に関わる取り組みの情報提供

(ア) 雑誌掲載 月刊地域医学（連載）、医療系雑誌など 21件

##### エ 医療安全に関わる研究

医療安全教育教材の開発、試作に取り組み、新たに3本の視聴覚教材を作成し、運営施設からの講師派遣依頼に対応し、医療安全管理体制整備支援の一環として、医療安全研修の参加率向上のために提供した。

#### (5) シミュレーションセンター

##### ア 講習会の開催

(ア) ICLS 指導者養成ワークショップ（日本救急医学会 ICLS 指導者養成講習会）

3回開催、受講者合計30名

(イ) ICLS 講習会（日本救急医学会・心停止初期対応）

21回開催 受講者合計206名

(ウ) BLS 講習会（日本救急医学会・心停止初期対応基礎）

2回開催 受講者6名

(エ) SSID 講習会（シミュレーション指導者養成講習会）

2回開催 受講者合計20名

(オ) SHEAR 講習会（緊急気道管理）

2回開催 受講者合計24名

(カ) 人工呼吸療法ワークショップ

1回開催 受講者17名

(キ) PUSH コース

5回開催 受講者合計117名

(ク) PUSH 指導者養成講習・開き方講座

3 回開催 受講生合計 51 名

(ケ) PUSH 評価コース

3 回開催 受講者合計 9 名

イ 協会施設職員への設備・備品の貸し出し

95 件 延べ利用者 2,948 名

(6) 医師等海外研修事業

ア オレゴン健康科学大学

医師 2 名 (1 か月研修 1 名、2 か月研修 1 名)

看護職員 1 名 (2 週間研修)

イ トーマスジェファーソン大学

看護職員 8 名 (1 週間研修)

医療技術職員 9 名 (1 週間研修)

事務職員 7 名 (1 週間研修)

ウ ハワイ大学

医師 2 名 (1 か月研修 2 名)

看護職員 6 名 (1 週間研修)

(7) JADECOC 学術大会の開催 (9 月 14 日～15 日)

ア テーマ：『地域医療における働き方改革—Decent work for all—多職種連携をととして』

イ シンポジウム、ワークショップ、講演会、研究発表会、研修会などを実施

ウ 開催場所：よこすか芸術劇場、メルキュールホテル横須賀、セントラルホテル

エ 参加者数 917 名

(8) 西日本事務局における事業

以下の業務について事務を分担した。

ア 総局・支援センターと連携した新規施設の開設と運営管理

(ア) 行政の地域医療確保等に関わる相談への対応

・香川県綾川町 (老健の継続的な運営)

・和歌山県 (和歌山県内地域医療の確保)

・京都府南丹市 (美山地区の地域医療の確保)

(イ) 管理運営協議会にて行政と経営検討を実施

市立奈良病院/奈良市立診療所群及び奈良市立看護専門学校、

越前町国民健康保険織田病院、公立丹南病院、

おおい町保健・医療・福祉総合施設「なごみ」、与那国町診療所、

- 国頭村立東部へき地診療所、竹富町立黒島診療所、公立久米島病院
- (ウ) News Letter、パンフレットの作成支援による診療所広報の充実
- イ へき地等への医師派遣・確保事業
- (ア) 鳥羽市立長岡診療所、おおい町・医療・福祉総合施設「なごみ」の医師確保
- (イ) 西部ブロック会議の京都開催支援 1月28日(火)
- ウ 西日本の会員、自治医大在学生・卒業生への支援
- (ア) 自治医科大学学生相談会(5年生)の実施支援
- 北海道・東北・関東・北陸・信越・東海ブロック 9月27日
- 近畿、中国、四国、九州ブロック 9月20日
- (イ) 卒後ガイダンスの開催支援 12月17日
- エ 西日本の地方支部及び府県支部事業への支援
- (ア) 地方支部事業への支援
- 近畿ブロック幹事会の開催(京都)8月31日、参加者37名
- 四国ブロック令和元年記念総会の開催(高松)10月26日、参加者54名
- 中国ブロック福祉と医療を語る会研修会(広島)11月16日、  
受講者約140名
- (イ) 府県支部事業への支援と会員確保の取り組み
- オ 経営計画発表会、病院経営力強化プロジェクト等の会議・研修会開催支援
- (ア) 経営計画発表会 7月25日(木)、12月7日(土)
- (イ) 病院経営力強化プロジェクト 10月4日(金)～5日(土)
- (ウ) 地域医療型プログラム専攻医 冬の合同ミーティング  
(ポートフォリオ相談会) 2月15日(土)～16日(日)
- カ ヘルスプロモーション研究センター事業への支援
- キ 教員・指導医国際交流事業
- オレゴン健康科学大学から医師等の招へい業務への支援
- 6月 医師等3名、1月 研修医1名
- ク 教育研修事業の実施
- へき地・地域医療学会の開催支援 (6月29日～6月30日)

(9) その他の病院等の運営事業

- ア 新人事制度の実施
- イ 人事考課の実施
- ウ 実務試験の実施
- (ア) 中間管理者看護師任用候補者選考試験(10月17日試験及び11月16日面接)
- (イ) 事務職実務知識試験(11月27日)
- エ 看護師の確保事業及び派遣調整事業の実施
- 運営施設の看護師確保に努めた。また、派遣のための調整を行った。

オ 職種別研修の実施

- (ア) 新人研修 (4月5日、6日)
- (イ) 新任部長研修 (4月20日)
- (ウ) 評価者研修 (5月26日)
- (エ) 2～3年目事務職研修 (1月28日～30日)
- (オ) 係長向け事務職研修 (2月25日～27日)
- (カ) 管理者(管理者候補含)研修「病院経営力強化プロジェクト」(計4回)

カ 新任経理担当者研修の実施 11月8日

キ 施設の必要資金を一括して資金調達

ク 経理指導の実施

新規施設、新任経理担当者等への指導

ケ 経営指導の実施

- (ア) 経営計画発表会の実施
- (イ) 病院経営力強化プロジェクトの実施
- (ウ) 介護施設経営改善発表会の実施
- (エ) 診療報酬施設基準届出事項の一元管理
- (オ) 経営不振施設について、黒字化小委員会開催
- (カ) 適時調査対策指導
- (キ) 病床再編検討指導

コ シェアードサービスの運用

- (ア) 医薬品一括発注
- (イ) 検体検査委託の一括発注
- (ウ) 病院・医師賠償保険等の一括発注
- (エ) 放射線機器保守一括契約
- (オ) 電力自由化による一括契約

サ 施設アメニティ事業の運用

売店事業として、台東区立台東病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、東京北医療センター、練馬光が丘病院の4施設で運営をした。

シ 情報システムの基盤強化と利用促進

- (ア) VPNネットワークの整備(古里診療所、小櫃診療所)
- (イ) グループウェア(MOSS)システムの導入(古里診療所、小櫃診療所)
- (ウ) グループウェア(MOSS)システムの運用管理
- (エ) データセンターの運営(約70台のサーバの保守管理)

ス 病院情報システムの導入・運用指導

電子カルテについて、協会を通じた共通システムを導入した。  
伊豆今井浜病院(令和2年3月稼働)

セ 人事給与システム及び財務会計システムの更新

人事給与システム及び財務会計システムについて、新規システムの選定及び設計

を行った。

セ 医療情報文献サービスの実施

医学中央雑誌及びメディカルオンラインの文献サービスを提供した。また、DynaMed、UpToDate の利用費助成を行った。

ソ 遠隔教育システムの運用

事務職研修、看護職研修にて運用した。

タ 広報事業の充実

(ア) 社内報 JADE コミュ東西南北を毎月 2 回発行した。(MOSS 及びホームページへの掲載)

(イ) 職員向け情報番組 JADECOM オンデマンド the Focus を 12 回配信した。(MOSS への掲載)

(ウ) 東京駅丸の内駅舎内大型マルチビジョンにて、自治医科大学と共同による広告の放映

(エ) 羽田空港第 1 及び第 2 ターミナル出発ロビーモニターにて、自治医科大学と共同による広告の放映を、令和元年 5 月から開始した。

(オ) 自治医科大学卒業生まで恩師が訪問する映像番組「JADECOM お元気ですか!？」を令和元年 6 月から開始、3 回配信した。

(カ) パンフレットの作成

(キ) カレンダーの作成

9 へき地等の医療を支援する病院等に勤務する看護師等を養成するための学校の運営事業等の養成事業（公 1 - 9）

(1) さいたま看護専門学校

開校して 8 年目、8 回生 39 名（へき地等地域枠推薦入学者 9 名）が入学し、35 名が 2 年生に、27 名が 3 年生に進級した。

6 回生 26 名が卒業し、第 109 回看護師国家試験を受験した。26 名が合格し、合格率は 100%（他：既卒者 1 名受験合格）であった。

卒業生の就職先は協会施設 19 名、その他施設は 7 名である。

(2) 奈良市立看護専門学校

平成 25 年 4 月に開校した奈良市立看護専門学校（校舎を奈良市に無償貸与している。）の教育業務について、奈良市から受託している。

開校して 7 年目、7 回生 37 名が入学し 6 回生 2 名の計 39 名が 1 年生に、40 名が 2 年生に、41 名が 3 年生に進級した。

3 回生 1 名、4 回生 1 名、5 回生 28 名が卒業し、第 109 回看護師国家試験を受験した。28 名が合格し、合格率は 93.3%（全国平均全体 89.2%、新卒者 94.7%）であった。

卒業生の就職先は協会施設 20 名、その他の施設 7 名である。（残り 1 名については保健師学校へ進学）

## 第2 法人の状況

### 1 会員の状況（令和2年3月31日現在）

#### （1）会員数

正会員は1,643名

準会員は7名

賛助会員は法人33名、個人5名

#### （2）会費の状況

入会金は10,000円であり、入会金収入は210,000円であった。なお、医師免許取得後1年未満は入会金免除となる。

年会費は、正会員10,000円（医師免許取得後2年以内は年会費5,000円）、準会員10,000円、賛助会員（法人）50,000円、賛助会員（個人）10,000円であり、年会費収入は17,665,000円であった。

### 2 役員の状況

#### （1）役員の状況

理事20名（常勤17名、非常勤3名）、監事2名（2名とも非常勤）の氏名、現職名等は別表2のとおりである。

#### （2）役員の報酬等

理事及び監事の報酬等の総額は362百万円である。

### 3 総会の開催状況

定時総会 令和元年6月29日開催

第1号議案 理事1名選任の件

報告事項1 平成30年度事業報告について

報告事項2 平成30年度決算報告について

### 4 理事会の開催状況

#### （1）第1回臨時理事会（平成31年4月4日開催）

第1号議案 奥多摩町古里診療所の指定管理者の応募について

第2号議案 協会が運営する施設の管理者の選考（任期変更）について

第3号議案 執行役員の選任について

#### （2）第1回定例理事会（令和元年5月25日開催）

第1号議案 令和元年度総会の招集の件

第2号議案 平成30年度事業報告

第3号議案 平成30年度決算報告

第4号議案 理事1名の選任の件

第5号議案 協会が運営する施設の管理者の選考の件

- (3) 第2回臨時理事会（令和元年6月20日開催）
  - 第1号議案 令和元年度補正予算及び事業計画について
  - 第2号議案 協会が運営する施設の管理者の選考について
- (4) 第3回臨時理事会（令和元年9月5日開催）
  - 第1号議案 松崎町岩科診療所指定管理者応募について
- (5) 第2回定例理事会（令和元年9月21日開催）
  - 第1号議案 真鶴町看護小規模多機能型居宅介護事業所及び訪問看護ステーションの指定管理者応募について
  - 第2号議案 君津市小櫃診療所指定管理者応募について
  - 報告事項1 常勤の理事による職務執行報告
  - 報告事項2 常勤の理事の他事業への従事について
- (6) 第3回定例理事会（令和元年12月21日開催）
  - 報告事項1 委員会活動状況報告
- (7) 第4回定例理事会（令和2年3月21日開催）
  - 第1号議案 令和2年度事業計画および予算について
  - 第2号議案 令和2年度の金融機関からの借り入れについて
  - 第3号議案 練馬光が丘病院の移転増改築に伴う資金計画及び担保提供・連帯保証について
  - 第4号議案 協会が運営する施設の管理者の選考について
  - 報告事項1 常勤理事による職務執行報告

## 5 常務理事会の開催状況

会務を執行するため、27回開催した。

## 6 支部会の開催状況

協会は47の都道府県に支部を置いており、40道府県で支部会議を開催した。（台風19号の影響による延期ならびに新型コロナウイルス感染拡大の影響による開催中止1県、新型コロナウイルス感染拡大の影響による開催中止5都県。高知県支部会議の開催なし）

## 7 委員会の開催状況

理事長の諮問事項について調査研究を行うため、委員会を開催した。

- (1) 総務委員会（5回開催）
- (2) 地域医療委員会（50回開催）
- (3) 財務委員会（8回開催）
- (4) 経営指導委員会（29回開催）
- (5) 人事委員会（3回開催）
- (6) 医師確保・人事・派遣委員会（17回開催）
- (7) 医師研修委員会（11回開催）

- (8) 看護介護委員会 (9 回開催)
- (9) 診療所委員会 (1 回開催)
- (10) 医療情報委員会 (58 回開催)
- (11) 編集委員会 (12 回開催)
- (12) 公衆衛生委員会 (12 回開催)
- (13) 公衆衛生委員会 (外部委員会) (2 回開催)
- (14) 会員支援委員会 (12 回開催)
- (15) 遠隔画像委員会 (2 回開催)

## 8 内部監査の実施状況

7つの病院を対象に事務部門に係る内部監査を実施した。

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| (1) 上野原市立病院         | 5月30日～31日  |
| (2) 越前町国民健康保健織田病院   | 6月25日～27日  |
| (3) 東京ベイ・浦安市川医療センター | 7月30日～31日  |
| (4) 十勝いけだ地域医療センター   | 9月25日～27日  |
| (5) 飯塚市立病院          | 10月23日～25日 |
| (6) 湯沢町保健医療センター     | 11月19日～20日 |
| (7) 公立久米島病院         | 1月27日～29日  |

別表1 病院等の一覧

	施設名	病院	診療所	老健	開設	運営形態
1	石岡第一病院	1			平成4年7月1日	直営
2	六合温泉医療センター		1	1	平成5年9月1日	中之条町から指定管理
3	西伊豆町安良里診療所		2		平成6年1月5日	直営から平成27年3月1日西伊豆町からの指定管理
4	揖斐郡北西部地域医療センター		3	2	平成10年4月1日	揖斐川町から指定管理
5	東通村保健福祉センター				平成11年2月1日	東通村から指定管理
6	白糠診療所		4		平成11年2月1日	一部事務組合下北医療センターから指定管理
7	西伊豆町田子診療所		5		平成11年5月1日	直営から平成27年3月1日西伊豆町からの指定管理
8	公立丹南病院	2			平成12年2月1日	公立丹南病院組合から指定管理
9	日光市民病院	3			平成12年4月1日	直営
10	磐梯町保健医療福祉センター		6	3	平成12年4月1日	磐梯町から指定管理
11	東通村診療所		7		平成12年4月1日	一部事務組合下北医療センターから指定管理
12	奥日光診療所		8		平成12年5月1日	日光市から指定管理
13	市立伊東市民病院	4			平成13年3月1日	伊東市から指定管理
14	揖斐川町春日診療所		9		平成13年7月1日	揖斐川町から指定管理
15	西吾妻福祉病院	5			平成14年2月1日	西吾妻福祉病院組合から指定管理
16	介護老人保健施設にっこう			4	平成14年4月1日	直営
17	横須賀市立うまら病院	6			平成14年7月1日	横須賀市から指定管理
18	湯沢町保健医療センター	7			平成14年8月1日	湯沢町から指定管理
19	加賀地域医療支援センター		10		平成15年3月1日	加賀市から指定管理、平成27年9月30日山中温泉医療センターの指定管理終了
20	東通村介護老人保健施設のはなしょうぶ			5	平成15年4月1日	東通村から指定管理
21	公設宮代福祉医療センター		11	6	平成15年10月1日	宮代町から指定管理
22	市立恵那病院	8			平成15年12月1日	恵那市から指定管理
23	東京北医療センター介護老人保健施設さくらの杜			7	平成16年1月1日	(独)年金健康保険福祉施設整理機構から経営委託、平成26年3月10日から直営
24	東京北医療センター	9			平成16年4月1日	(独)年金健康保険福祉施設整理機構から経営委託、平成26年3月10日から直営
25	市立奈良病院	10			平成16年12月1日	奈良市から指定管理
26	公立黒川病院	11			平成17年4月1日	黒川地域行政事務組合から指定管理
27	いなずま診療所		12		平成17年6月1日	直営
28	介護老人保健施設みはらし			8	平成18年4月1日	伊東市から指定管理
29	村立東海病院	12			平成18年5月1日	東海村から指定管理
30	地域包括ケアセンターいぶき		13	9	平成18年4月1日	米原市から指定管理
31	おおい町保健・医療・福祉総合施設		14	10	平成19年4月1日	おおい町から指定管理
32	志摩地域医療福祉センター		15	11	平成20年4月1日	志摩市から指定管理
33	飯塚市立病院	13			平成20年4月1日	飯塚市から指定管理
34	市立大村市民病院	14			平成20年4月1日	大村市から指定管理
35	奈良市立柳生診療所		16		平成20年4月1日	奈良市から指定管理
36	奈良市立田原診療所		17		平成20年4月1日	奈良市から指定管理
37	上野原市立病院	15			平成20年10月1日	上野原市から指定管理
38	台東区立台東病院・台東区立老人保健施設千東	16		12	平成21年4月1日	台東区から指定管理
39	山北町立山北診療所		18		平成20年12月1日	山北町から指定管理
40	東京ベイ・浦安市川医療センター	17			平成21年4月1日	直営
41	横須賀市立市民病院	18			平成22年4月1日	横須賀市から指定管理
42	上河津診療所		19		平成22年1月12日	直営
43	シティタワー診療所		20		平成22年3月1日	直営
44	奈良市立月ヶ瀬診療所		21		平成22年4月1日	奈良市から指定管理
45	奈良市立都瀬診療所		22		平成22年4月1日	奈良市から指定管理
46	明日香村国民健康保険診療所		23		平成22年4月1日	明日香村から指定管理
47	伊豆今井浜病院	19			平成22年7月1日	直営
48	関市国民健康保険津保川診療所		24		平成23年4月1日	関市から指定管理
49	十勝・いけだ地域医療センター	20		13	平成23年10月1日	池田町から指定管理
50	女川町地域医療センター		25	14	平成23年10月1日	女川町から指定管理
51	与那国町診療所		26		平成23年10月1日	与那国町から指定管理
52	練馬光が丘病院	21			平成24年4月1日	直営
53	嬭恋村国民健康保険診療所		27		平成24年4月1日	嬭恋村から指定管理
54	三重県立志摩病院		22		平成24年4月1日	三重県から指定管理
55	越前町国民健康保険織田病院		23		平成24年4月1日	越前町から指定管理
56	公立久米島病院		24		平成24年4月1日	沖縄県離島医療組合から指定管理
57	伊豆下田診療所		28		平成24年5月1日	直営
58	真鶴町国民健康保険診療所		29		平成25年8月1日	真鶴町から指定管理
59	今泉記念館ゆきあかり診療所		30		平成25年10月1日	直営
60	六ヶ所村医療センター		31	15	平成26年4月1日	六ヶ所村から指定管理
61	戸田診療所		32		平成26年4月1日	沼津市から指定管理
62	西浅井地区診療所		33		平成27年4月1日	長浜市から指定管理
63	揖斐川町谷汲中央診療所		34		平成27年4月1日	揖斐川町から指定管理
64	米原市地域包括医療福祉センター		35		平成27年10月1日	米原市から指定管理
65	介護老人保健施設市川ゆうゆう			16	平成28年4月1日	市川市から経営移譲
66	鳥羽市立長岡診療所		36		平成28年4月1日	鳥羽市から指定管理
67	竹富町立黒島診療所		37		平成28年4月1日	竹富町から指定管理
68	奈良市立興東診療所		38		平成28年6月1日	奈良市から指定管理
69	日光市立小来川診療所		39		平成29年4月1日	日光市から指定管理
70	恵那市国民健康保険山岡診療所		40		平成29年4月1日	恵那市から指定管理
71	千早赤阪村国民健康保険診療所		41		平成29年4月1日	千早赤阪村から指定管理
72	国頭村立東部へき地診療所		42		平成29年4月1日	国頭村から指定管理
73	恵那市介護老人保健施設ひまわり			17	平成30年4月1日	恵那市から指定管理
74	介護老人保健施設富谷の郷			18	平成30年6月1日	直営
75	あま市民病院	25			平成31年4月1日	あま市から指定管理
76	古里診療所		43		令和元年9月1日	奥多摩町から指定管理
77	さいたま看護専門学校				平成24年4月1日	直営
	合計	25	43	18		

## 公益社団法人地域医療振興協会役員名簿

令和2年3月31日現在

役 職	氏 名	現 職
会 長	高 久 史 麿	自治医科大学名誉学長、一般社団法人日本医療安全調査機構理事長、 一般社団法人日本医学教育評価機構理事長
副会長	川 上 正 舒	公益社団法人地域医療振興協会、練馬光が丘病院名誉院長
理事長	吉 新 通 康	公益社団法人地域医療振興協会
副理事長	山 田 隆 司	公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所所長、台東区立台東病院管理者兼 病院長
副理事長	沼 田 裕 一	公益社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院管理者
常務理事	白 崎 信 二	公益社団法人地域医療振興協会西日本事務局担当常務理事、おおい町保健・医 療・福祉総合施設管理者兼施設長
常務理事	外 山 千 也	公益社団法人地域医療振興協会古里診療所管理者兼診療所長
常務理事	宮 崎 国 久	公益社団法人地域医療振興協会東京北医療センター管理者
常務理事	木 下 順 二	公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター副管理者
常務理事	藤 来 靖 士	公益社団法人地域医療振興協会
理 事	細 田 瑳 一	公益財団法人政策医療振興財団理事長
理 事	崎 原 永 作	公益社団法人地域医療振興協会事務局沖縄地域医療支援センターセンター長
理 事	神 山 潤	公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ・浦安市川医療センター管理者
理 事	塩 津 英 美	公益社団法人地域医療振興協会東京北医療センター副管理者兼センター長
理 事	大槻 マミ太郎	自治医科大学副学長
理 事	西 尾 博 至	公益社団法人地域医療振興協会市立奈良病院管理者
理 事	井 上 陽 介	公益社団法人地域医療振興協会湯沢町保健医療センター管理者
理 事	梅 屋 崇	公益社団法人地域医療振興協会あま市民病院管理者兼病院長
理 事	原 田 昌 範	山口県立総合医療センターへき地医療支援部診療部長兼へき地地域医療支援セン ターセンター長
理 事	原 山 和 巳	公益社団法人地域医療振興協会事務局局長
監 事	茶 川 治 樹	岩国市医療センター医師会病院病院長
監 事	永 井 慎 昌	日本赤十字社鹿児島赤十字病院内科部長兼総合診療科部長兼医療社会事業部長兼 地域医療連携室長